

原発いらない金曜行動

毎月第三金曜日、声を上げ続けよう

2022年

5月～8月の開催日は

5月20日 (金)

6月17日 (金)

7月15日 (金)

8月26日 (金)

第三金曜日19日は「総がかり行動」ですので8月は第四金曜日の開催となります。

午後6時30分～7時45分

首相官邸前

丸の内線・千代田線「国会議事堂前」
南北線・有楽町線「永田町」銀座線「溜池山王」

発言

鎌田慧さん (予定)

落合恵子さん (予定)

市民のスピーチリレー



放射能汚染水を海に流すな
すべての原発を廃炉に
核のゴミ(死の灰)を増やすな
放射能で地球を汚すな
温排水で海を温めるな
東海第二原発うごかすな
美浜・高浜・老朽原発動かすな
直ちに原発ゼロを実現せよ
原発も核兵器も要らない

《福島からのメッセージ》

2021年4月13日に、東電福島第一原発の敷地内のタンクに貯められている汚染水の2年後の海洋放出を当時の菅政権が国会も通さず関係閣僚等会議だけで決めてしまってから早や8か月が経ちました。

この間、福島では漁業者や農林業、生協が共同声明を出したり、自治体議会が反対の決議をしたり、市民集会や署名活動、経産省を呼んでの意見交換会などを行っています。毎月13日には各地でスタンディングをしています。県内で海といのちを守る一点でつながるネットワークも立ち上がりました。

国や東電が処理水と呼ぶ汚染水は、原発事故があったから発生したものです。事故により既に甚大な海洋汚染をした東電と国は、これ以上環境を汚染せずに発生責任者として、安全に管理保管することが道理です。1年4か月後に向けて、住民の声を聞かず着々と準備を進める東電や、放出の安全を説いて回る国の動きを何とか止めるために、福島でも必死に行動していますので、皆さんも是非、声を上げ行動してください。

頑張りましょう！

2021年12月15日原発いらない金曜行動の日 武藤類子

「原発いらない金曜行動」にご参加を！

昨年6月に始まった新たな「金曜行動」も毎月第三金曜日に200名近い皆さんが首相官邸前に集まり抗議の声を上げ続けることができました。

2022年、岸田政権は原発再稼働を進め、海と空と大地を放射能で汚そうとしています。全国の仲間たちと連帯し、多くのみなさんの参加で「原発いらない」を訴え続けましょう！
ご参加をお待ちしています。

- ☆ 手作りプラカード、スピーチ歓迎
- ☆ コロナ対策、よろしくお願いします。



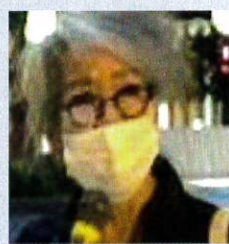
脱原発のために 鎌田 慧



いままで鳴りをひそめていた原発推進派が、今年は「脱炭素」を掲げて巻き返しの転じようとしている。スリーマイル、チェルノブイリ、フクシマ。米ロ日が核の商業利用に失敗して、多大な犠牲を発生させた。それでもなお脱原発に踏み切れない。この野蛮な儲け主義は人間主義に敵対する。賢明な国は、たとえばドイツやイタリアのように、決然と脱原発を宣言した。人間の健康と地球環境と平和を思えば、これ以上、核を利用すべきではない。核廃絶は世界の声だ。「クリーンエネルギー」は、真っ赤なウソだった。今度は「脱炭素」を口実に、「グリーンエネルギー」に看板を塗り替えた。わたしたちは、脱原発と脱炭素とを同時に追求する。

原発の新增設はやめろ。再稼働はさせない。核汚染水を海に流すな。核廃棄物は動かすな。危険な六ヶ所村の再処理工場は廃棄せよ。福島の大破滅的な事故から11年たった。いまだ悲劇は絶えない。廃炉にむかって、わたしたちは今年も首相官邸前で、「脱原発」を叫び続ける。元気でいこう。

憤りをいまここに 落合 恵子



偽りの安全神話の中で守られ育った原発の過酷事故。あれから間もなく11年。

家族を、故郷を、人生そのものを奪われた人々。
汚染水でさらに汚されようとしている海。
無責任極まりない権力者たちと、権力にすり寄る輩。
あの小さな島に、この国の70パーセント強の米軍基地を押しつけているやつら。
近畿財務局の職員の自死。
その無念さを、遺された妻の悔しさを、強引に「認諾」に押し込めようとする輩。憤りを、いまここに集結しよう。
わたしたち自身と、未来の子どもたちと、民主主義を取り戻すために。

2022年2月、鎌田、落合両氏から寄せられたメッセージ

私たちは総ての戦争に反対し、ロシア軍のウクライナからの撤退を求めます。 武力で平和は創れない！ 今こそ、原発も核兵器も廃絶しよう！

ロシア軍のウクライナへの侵攻後、原子力施設が攻撃されロシア兵が被曝し核被害の危険が高まっています。一方、自公政権では、敵基地攻撃能力を認め「核共有」を求める動きや、エネルギー危機を理由に原発再稼働を画策する動きが活発化しています。

しかし原発からは核兵器の原料となるプルトニウムが生み出される一方、使用済み核燃料をも冷却し続けることが必要な原子力施設が攻撃されれば核爆発の危険にさらされます。

私たちは戦争という暴力に反対すると同時に、原発が攻撃されれば核兵器と同等な甚大な核被害をもたらす危険性について声を大にして訴え、原発も核もない世界を築いていきましょう！

ウクライナ戦争が、戦争の悲惨さのみならず、食の安全、エネルギーの自給の必要性をも教えています。今こそ、省エネ、脱原発、再エネ推進を訴えましょう。

「原発いらない金曜行動」呼びかけ人

青山晴江(詩人)、落合恵子(作家)、鎌田慧(ルポライター)、神田香織(講談師)、菊地輝子、木村雅英(経産省前テントひろば)、久保清隆(再稼働阻止全国ネットワーク)、古今亭菊千代(落語家)、佐高信(評論家)、志田文広(とめよう！東海第二原発首都圏連絡会)、下山保(パルシステム連合会初代理事長)、新居弥生(原子力規制委員会毎水曜昼休み抗議行動)、橋本輝之(ピースサイクル全国ネットワーク)、武笠紀子(反原発自治体議員・市民連盟)、柳田真「たんぼぼ舎」横田朔子(とめよう！東海第二原発首都圏連絡会)、乱鬼龍(川柳人)

【賛同団体・賛同人募集中！】

連絡先—久保(090-4074-4955) 乾(090-9105-9469)
*2022年4月現在 賛同人 86名 賛同団体 36団体

Blog: <https://nonukes0311.blog.fc2.com/>
Facebook: <http://www.facebook.com/groups/898602647676402/>

